

第1回  
(仮称)北統合中学校  
学校再編代表者会議  
議事録

日 時：令和8年1月26日（月）  
場 所：ひかた市民センター

## 第1回 (仮称)北統合中学校 学校再編代表者会議

日 時 令和8年1月26日 (月) 午後6時30分

場 所 ひかた市民センター

### 議事日程

- 1 開 会
- 2 委嘱書交付
- 3 教育長あいさつ
- 4 委員紹介
- 5 代表者会議の設置・進め方について
- 6 会長、副会長の選出
- 7 議 題
  - (1) 議案第1号 学校再編の可否について (諮問)
- 8 その他
- 9 閉 会

### 出席委員 (24名)

#### 保護者代表

第二中PTA	井ノ上 直人	第二中PTA	諸持 典明
第二中PTA	大林 哲也	干潟中PTA	高安 忠廣
干潟中PTA	鏑木 正彦	干潟中PTA	高木 真弘

#### 地域住民代表

新町仲町区区長	浪川 正彦	江ヶ崎西町区区長	中村 輝彦
中11区区長	菅谷 圭一郎	西18区区長	越川 雅昭

#### 学校教育関係者

第二中校長	齊藤 実	干潟中校長	溝口 洋樹
-------	------	-------	-------

#### 福祉関係者・青少年育成関係者

主任児童委員	金谷 茂	青少年相談員	宮野 智
--------	------	--------	------

民生委員 大湊 一文

青少年相談員 石井 和芳

その他教育委員会が必要と認める者

共保 和護 小者 廣岡 美穂  
池の端保育所者 宮内 大知  
中保 和護 小者 藤崎 理佐  
千漣町中央保園者 高木 奈保子

共保 和護 小者 高埜 真奈未  
共保 和護 育所者 高安 めぐみ  
萬保 歳護 小者 井上 真実  
千漣 学校運営協議会委員 花香 武見

欠席委員（0名）

事務局職員出席者

教 育 長 向後 依明  
学校教育指導室長 遠藤 忠義  
施設 設 班長 石毛 厚史  
学校再編室査 椎名 倫史

教育総務課長 飯島 正寛  
教育総務課長 八馬 裕樹  
学校再編室査 林 義樹  
学校再編室 加瀬 政吉

傍聴者 0名

## 1 開 会

○事務局 本日は大変お忙しい中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

それでは定刻となりましたので、これより（仮称）北統合中学校学校再編代表者会議を開催させていただきます。

## 2 委嘱書交付

○事務局 はじめに、代表者会議の委員にご承諾を頂きました皆様へ、教育長より委嘱書を交付させていただきますが、お時間の都合上、大変恐縮ではございますが、代表して第二中学校PTA顧問の井ノ上直人様、干潟中学校PTA会長の高安忠廣様にお受け取りをお願いしたいと存じます。

恐れ入りますが、中央までお越しく下さい。

（委嘱書交付）

○事務局 他の委員の皆様の委嘱書は事前に机の上にお配りしておりますので、ご確認くださいませようお願いいたします。

## 3 教育長あいさつ

○事務局 続きまして、会議の開催にあたり、教育長より一言ご挨拶を申し上げます。

○教育長 皆様こんばんは、教育長の向後でございます。

本日は大変ご多用の中（仮称）北統合中学校、第1回学校再編代表者会議にご出席いただき誠にありがとうございます。

ただ今、委嘱書を交付させて頂きましたが、皆様には地域検討会議に続いて、代表者会議の委員としてもご協力を頂けることとなりました。改めまして御礼を申し上げます。誠にありがとうございます。

さて、この代表者会議は条例によって定められた市の附属機関でございます。そして、本会議の役割といたしましては、市の「学校再編基本方針」の（仮称）北統合中学校について、教育委員会の諮問に対して、調査審議を繰り返し答申をいただくものでございます。教育委員会からの具体的な諮問の内容は、「琴田・共和・中和・萬歳・古城小の5つの学区を対象に、中学校を新設すること」先ずは、このことについて、賛成か反対かという答申をいただくこととなりますが、大切にしていきたいことは子供たちにとってのより良い教育環境づくりです。

教育委員会と致しましても、未来を担う子供たちが互いに学び合い高め合いながら、心身ともに逞しく成長できる充実した教育環境を維持・向上させるため、精一杯努めて参りますので、委員の皆様にも何とぞご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます、簡単ではありますが、私の挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしく申し上げます。

#### 4 委員紹介

○事務局 次に次第の4. 委員の紹介に移ります。このたび御就任いただきました委員の皆様方を、お配りしました資料1の順番でご紹介させていただきます。

(委員紹介)

○事務局 なお、皆様の任期につきましては、本日から始まり、この会議に諮られた諮問事項に対して調査審議していただき、答申がまとまるまでとなっておりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、当審議会の事務を所管しております教育総務課の職員を紹介させていただきます。

(教育総務課職員紹介)

#### 5 代表者会議の設置・進め方について

○事務局 それでは、次第の5. 代表者会議の設置・進め方について、担当よりご説明させていただきます。

○事務局 (資料説明)

○事務局 それでは、今の説明に対して質問等がありましたらお願いします。

(発言する人なし)

#### 6 会長、副会長の選出

○事務局 それでは、次第の6、会長、副会長の選出に入らせていただきます。

資料3. 旭市学校再編代表者会議条例第6条をご覧ください。第6条の規定により「会長及び副会長は委員の互選によりこれを定める」とあります。自薦・他薦は問いません。どなたかいらっしゃいますでしょうか。

(発言する人なし)

○事務局　どなたもいらっしゃらないので、事務局から提案させていただいてもよろしいでしょうか。

ご了承いただけたと受け取り、事務局より提案させていただきます。

会長、副会長を地域検討会議の会長であった、井ノ上様と高安様にお願いしたいと思いますが、皆様いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○事務局　それでは、少し時間を設けますので、井ノ上様と高安様は相談していただき、会長と副会長の選出をお願いします。

(休 憩)

○事務局　お待たせいたしました。相談の結果、会長が井ノ上直人様、副会長が高安忠廣様となりました。

それではただ今、会長に選出されました井ノ上様より一言、ご挨拶をお願いしたいと存じます。

○会長　今回学校再編代表者会議で会長を務めさせてもらいいただきます井ノ上と申します。よろしくをお願いします。

○事務局　それでは、続いて次第の7. 議題に入ります。

初めに、議案第1号、学校再編の可否について、お配りしました諮問書をご覧ください。なお、原本は会長へお渡ししております。諮問書のとおり、琴田小・共和小・中和小・萬歳小・古城小の5つの学区を対象に、中学校を新設することについて、ご審議のほどよろしくお願ひいたします。

これ以降の議事につきましては、旭市学校再編代表者会議条例第7条の規定により、会長が議長となります。井ノ上会長、よろしくをお願いします。

## 7 議 題

### (1) 議案第1号 学校再編の可否について (諮問)

○会長　それでは、議事に入らせていただきたいと思います。

教育委員会から諮問がありました、議案第1号、学校再編の可否について、本日の会議で審議することとしてよろしいでしょうか。

了承いただいたと判断しまして、議案第1号について審議を進めたいと思います。

最初に、事務局より説明をお願いします。

○事務局 (資料説明)

○会長 ありがとうございます。

ただいま説明いただきましたとおり、地域検討会議の検討結果については、二中側と干潟中側で異なる結果となっております。異なる結果ではあるものの、基本方針とは異なる委員の意見ということで、学区の見直しだったり、二中の活用ですとか、そういうところに関しては同じ意見が出ているんだなと感じたところです。また、候補地に関しては干潟中側からの目線、距離感、また二中側からの距離感、そういったところが出ているのかなと感じたところです。

議案第1号についてはよく協議していただき、議論が尽くされたら皆さんの了解の下、最終的な採決を行っていきます。本日は初回ですので、今日すぐ決めるというわけにはいきませんので、自己紹介も兼ねて、今の説明に対する意見や質問、また次回までに欲しいデータとかありましたら、それについてお話いただければと思います。

○委員 今までの共和・琴田地区で話し合いをした結果も代表として踏まえて、干潟地区の意見もありますので、柔軟に話し合いのほうができればと思います。

○委員 今の干潟中の検討結果と二中の検討結果を見ると、干潟中の言ってることも全然わからなくもないし、非常に難しい問題だなと私自身今すごく感じてます。ですので皆さんと本当に同じ方向を向いて話し合いができればいいなと思います。

○委員 今率直な意見としては、検討結果を見る限りでは統合に対しては特に問題ないのかなと思うんですけども、次回いただく資料としては、スクールバスを使ってやるっていうのも可能なかっていうのをちょっと聞いてみたいなというふうに思いました。

○委員 基本的に統合に関しては賛成で、干潟地区の時も賛成できていますが、旭地域の方達の意見をもう少し色々聞いてみたいっていうのは率直な感想です。例えばスクールバスで干潟地区の方達が第二中学校や海上中に通学する、そういった意見もなるほどなって感じていますので、今の段階ではもう少し色々話を聞かせていただければという感じです。

○委員 私も基本方針には賛成の立場です。理由としては過疎地域に住む者として、新しく箱ものができるということに大きく期待をしているということと、あとやっぱり生徒数、学級数のアンバランスさ、この辺を考えると、やっぱり再編はやむを得ないのかなというふうに思っています。反対する意見も多々あるかと思いますが、今後の話し合いで解決していくのかなと思っています。

事務局のほうにお願いとしまして、これ会計的に、今ある学校を改修して使うということ

よりも、新築をしてしまっ、最初にお金はかかると思うんですけど、新築をしてしまったほうが安上がりで済むんじゃないかなと考えています。スクールバスを出すにしてもお金がかかるわけですし、既存の建物を使って運営していく方法と、新しく建てて運営していく方法と、お金はそんなに変わらないですよとか、こっちのほうがお金がすごくかかりますみたいなことをはっきり聞きたいなと思います。

○委員 共和・琴田地区の話し合いの中で、一応その時の私の意見としましては、基本的に反対ではないんですけど、この方針に沿った生徒数、これでは仮に2035年で実施したとしてもあまりにも生徒数が少なくて、そもそもすぐ成り立たなくなってしまうような学校になってしまうのではないかということで、これにつきましては費用の面もそうですけども、全体のバランスがよろしくないんじゃないかということで反対の意見を表明させていただいております。

そもそも中央小学校とか今回の統合に関係してこないところが、この計画を作る段階でノータッチでやってるんでこういうことになってしまってるんじゃないかなってというのは私の考えているところでありまして、干潟地域のほうに新しい学校ができて、街づくりが進んでいくということであれば、これは反対するところは全くないんですけども、今これでやっても成り立つようなものはできないと思いますんで、もしやるのであれば皆さんからも意見ありましたが、豊畑・干潟学区とかの人数を繰り入れていかないと、そもそも成り立たないんじゃないかっていうのが私の意見として発表させていただいたところであります。

○委員 基本的には今言ったようなことに近い議論をしてきました。そういう経緯を含めて、この反対多数という中で、私は賛成に近かった立場なんですけど、やはり障害福祉の現場なんか見ると、子供たちは環境っていうのが非常に影響するんですね。ですから小中学校の時にいい環境の場所で育ててあげたいっていう思いが強くあります。そういう中で次回の資料の提案ができるのであれば、全国含めて、こういう素晴らしい環境の中学校があるんだよみたいなのがあると、また我々も議論は違ってくるのかなということで課題を投げさせていただきます。

○委員 これから色々な意見が出るとしますので、自分も柔軟な判断をして、よりいい方向にしていきたいと思います。

○委員 同じ意見です。

○委員 自分としては中学校3年間子供たちがよりよい教育活動ができるような環境や施設を整えるっていうのがやっぱり一番の願いです。再編計画では南統合中学校が一中または二

中ということで、まだはっきりと決まっていない状況です。一中と二中では教室数が全く違いまして、それこそ理科室とか音楽室とかそういったものも全く数が違います。どちらを使うかでゆとりのある教育活動になるかどうかというのも変わってくると思うんですね。

それで今現在中学校一年生は35人学級、二年生、三年生は千葉県のほうでは38人学級ということで決まっております。今後文科省のほうが中学校35人学級にする方向で今動いてますので、今の人数よりも35人学級になれば学級数が増える可能性があります。仮に2校になった場合で考えてみますと、資料5の下の表を見ますと、北中と南中で一つの中学校と考えると、900人の規模がしばらく続きます。900人ぐらい生徒がいると今の二中では普通教室が足りません。仮に一中を使うとしても普通教室が足りないので、プレハブを使っただけの教育活動ということが予想されます。ですので、そういったことも踏まえて、この生徒数で普通学級がいくつ用意できて、何学級分のプレハブを作らなければいけないとか、その辺も資料を出していただいて、2校の場合いつ頃だったらよりよい教育活動ができる環境になるか、十何年か経ったら人数が減ってくるので、今の二中の環境でも使用できるとか、あるいは一中でも使用できるとか、その辺も踏まえて考えていく必要があるのかなというふうに思います。

やはり子供たちがプレハブで授業をやるとか、あるいは理科室がいっぱいで使えなくて教室で理科をやる、あるいは音楽室が学級数が多くて全然回ってこなくて2週間に1回しか使えないとか、あるいは体育館が学級数多くて体育の授業が体育館でできないとか、そういった環境や施設になることは避けたいなというのが自分の意見です。その辺も踏まえて必要な資料を用意していただいて、皆さんで協議できればと考えております。

○委員 スクールバスの件なんですけども、私以前スクールバスを使ってる学校に勤務したことがあります。学校現場としてはスクールバスだとすごく制約があつて、例えばちょっと今日放課後残らせて何かやらせたいなと思つても、バスの時間があるので結構慌ててその時間に合わせて子供たちを帰さなくちゃいけないとか。あと例えば子供たちが具合が悪くて急に早く帰すとかそういうこともあつた時に、このバスが出るか出ないか、運転手さんがずっといるわけじゃないのでバスの運転手さんが揃わないと早く帰せないとか、いろんな難しい面もあつたっていうのは、自分が経験した中ですごくあります。スクールバスって一言で言っても確かに便利なんですけど、その分学校側としては制約される部分とかも結構ありますので、もし可能ならば子供たちが自力で通えるような方法もどうかっていうのは個人的には思つてます。

あと人数的なものですね、この北中、南中、東中ありますけども、この北中の人数が少な

いんじゃないかってお話もありますが、今現在干潟中142名で各学年2クラスでやっています。二中は722ということで、これだだいぶ差があるんですけども、ただ干潟中142名でも今充実して教育活動が行われています。先を見てみると北中で令和17年で234名とか、200いればかなり十分な教育活動が行われるんじゃないかなっていうふうには考えてます。ただ現在のこの人数で見ると令和14年以降は2桁になるので、2桁になるとちょっといろんな面で人数が少なくなっていくので、200人であれば十分教育活動は可能んじゃないかなっていうのは自分では考えています。

○委員 5つの学区を対象に中学校新設という案は私は正直反対の立場でございました。人数のバランスを考えて干潟小学校や豊畑小学校を統合したらどうかと話をして反対の立場だったんですけども、机の上で考えるじゃなくて、通うのは誰かということで、干潟学区と豊畑学区が例えば北中学校に通うとなったら自転車ということで、私去年豊畑小学校近くの信号から共和小まで自転車で帰ってきました。だいぶ疲れまして。ということで、通う子供たちのことを考えると、干潟小学校、豊畑小学校の子供たちはより近い中学校に行ってもらったほうがいいのかと、足の筋肉痛を揉みながら考えていました。ということでこの5つ学区を対象とした再編案にはだいぶ賛成のほうに私は傾いております。

○委員 今の時点では私はどちらかといえば賛成のほうで思っております。教育に関して今まであまり考えたことがなかった立場なんですけれども、そういう関係者の方々がいろんな長い目を見て、いろんな案を考えてることに対して、特に反対っていうのはないっていうところであります。また、今後いろんな意見をいただきながら、良い結果が出ればいいかなと考えておりますのでよろしく願いいたします。

○委員 私も地域検討会議からこの案に対しては反対の立場で、干潟地区は結論としては賛成ですけども、個人的には反対の立場でずっと来ました。統合はもう干潟中は待たないだと思ってます。だけど、この案だと中学校ができる頃には、またさらなる統合を考えないと存続できなくなっていくんじゃないかっていう懸念が一番あったので、私はこの学区の見直しをお願いしたいということで反対でした。

○委員 今の時点では私の意見としては賛成という立場を取らせていただいております。例えば既存の学校を使おうとした時に、やっぱりそこに対して多少なりとも人数が増えたりすることで改築ですとか、そういった必要なお金ですね、どれぐらいかかっていくのかっていうのを、前に干潟中学校を改築した場合にどれぐらいかかるかかっていうのを一つの例として挙げていただいたと思うんですが、もう少し詳細にですね、何処どこの学校をこうした場合

にどれぐらいかかるのかとかっていうのを、そういった資料を用意していただけると一つの考えていく参考になるのかなと思います。

これはもう本当に個人の感覚的な考えになっちゃうんで、何か根拠があつて言うものではないんですが、まずは3校での運用っていうのが望ましいのかなというふうには個人的には思ってます。あまり改革を一気に進めてしまうと、柔軟な対応っていうのが正直できなくなってしまうのかなと、往々にしてそういう例とかもありますので、まず3校で運用して、そこからどう人口が減ってく、増えていくっていうのは、その時に考えるとして、あまり一気に変革を求めるのではなくて、少しずつ変えていくっていうことのほうが運用としてはやりやすいのかなというふうには正直考えてます。

○委員 私ら基本方針に則った再編また統合に関しては反対という立場で、前回地域検討会議に出させていただいておりました。統合に関しては私は賛成の意見は元々ありました。っていうのもこの資料5で課題を三つ出していただいていたと思うんですけども、そのうちの二つ目、三つ目っていうのが一番問題なのかなと思っていて、生徒数のバランスが第二中とその他の学校とのバランスが悪い。あとは干潟中の生徒数の減少っていうのはこれが深刻なのかなと思っていて、じゃバランスが悪いのを戻してっていうか、統合することでちょっと均そうよっていうところが例えば目的であるんだとしたら、再編後の中学の人数、一番下に出ていると思うんですけど、例えば今であればまあまあ差はあるもののだいぶ近づいてはいるよね、ただこれが10年後になったらどうなのかっていったら、また開いちゃうよねっていうのがあります。今この欄にはないですけど例えば再編このままやりましょう、最短で例えば2028年から利用が開始になりました。じゃその10年後っていうと欄外になっちゃうんですけど、2038年には北中確実にこれ100人台になっちゃう。ってなると今の人数からまた統合っていう話になってしまうんじゃないのかなって、すごく安易かもしれないですけど私は思いました。

自分の家だけがいいとかじゃなくて、その地域の子供たちがどうしたらいい学校生活を送れるかっていうことを考えた時に、今いいとか、5年後10年後いいじゃなくて、20年後も30年後も子供たちがすごくいい学校でいい環境で生活ができる、学校生活を送れるっていうのができるような、せつかく新設するんだったらそのぐらい先々の未来のことも考えてのお話し合いがしたいなと思っているので、ぜひ教育委員会の方だったり、旭市の方にはこれを再編することで20年後30年後、その地域がもっと盛り上がって、人がこのぐらい増えるんじゃないかとか、ここにこういう人が集まるような場所ができるかっていうものまで、お話の

中にワクワクするものがあるんだとしたら、保護者としてはとても賛成の意見に偏るかなと思っています。

○委員　私も前回までの会議ではどちらかというと反対の意見だったんですけども、今回また違うメンバーになって専門的なお話もたくさん聞けるかなと思ってるのでちょっと期待をしています。今までのどちらの会議でも問題視してる部分は人数であったりとか、費用の問題だったりとか同じところだと思うので、そこについてまた詳しく色々聞きながら自分なりに考えていきたいと思っております。

○委員　前回までの会議では反対のほうで意見をさせていただきました。やはり上物を作るってなると、作っただけではなくて、その後やはり維持していくことにもお金はかかってくるだろうし、あとは自分の家ないし実家のほうは学区の本当に境目にあります。そこから通うとなると、現状の二中に通学しますってなると、確かに大きな通りはあるんですけども、割と街灯がある明るい地域を歩いていける、できれば明るいところを、大きな通りでも明るければ大丈夫かなと思っています。統合して広域農道を通るってなると、やはり道幅が狭い、街頭の数も少ないとかって考えて、自分は今のところ反対の意見をさせていただいています。

今いろいろな話を聞かせていただく中で、小学校区で今話をしているんですけど、そもそも小学校区が結構無理があって、ニーズバランスがおかしくなってるのかなっていうような意見もありました。あとそもそも論なんですけれども、出生率が上がってる地域も、過疎地域でもあるっていう話もあります。市としては今までどのような対策をして来たのか、その上でこの学校再編の話になってるのかっていうところをちょっと後で聞ければいいかなと思いました。人数が少なくなってるから学校再編を平気でポンってやるとなると、ちょっと違うのかなっていうのは自分の中でも思っていました。

○委員　私はこの基本方針には反対っていう意見で来てます。私はもう一度学区の見直しをするべきなんじゃないかなって思ってます。生徒数の推計が今回資料で出てますけど、先ほども話出ましたけど、学校をお金かけて新設して始めました、すぐもう続かなくなってしまうって、新しい学校再編をしなければなりませんっていうふうになってしまっただけは意味がないと思ってます。こうして皆さん集まって会議をして、もし新しい学校を作るとなるならば、やっぱり続いていく学校を作らなければならないと思ってます。なのでもう一度学区の見直しをするべきなんじゃないかなって思ってます。

干潟中の会議でも二中の会議でもスクールバスっていう意見が出てたと思うんですけど、私はコミュニティバスを少し使って、補助なり何なりを市のほうでしていただいて、子供た

ちがそれを使って登下校できるようにすれば、それこそ通いやすくなるのかなというふうに考えてます。

あと先ほども話出てましたけど、南統合中と北統合中を一緒にするとなるとちょっと校舎が足りないっていう意見も出てたと思うんですけど、人数を見てもこちらのほうが私は長い間続く学校になるんじゃないかなと思うんです。例えば同じ金額をかけて校舎を二中のほうに増設しても、続いていくほうがいいかなと思うので、資料として、もし北統合中学校と南統合中学校の人数が入るだけの校舎を増設するとなると、どのくらい費用がかかるものなのかっていうのをできれば知りたいなと思ってます。

○委員　今皆さんのお話を聞かせていただいて、地域検討会議での検討結果は干潟中学校は賛成で、二中学区のほうは反対多数ってことで、意見が分かれているのかなと思ったんですけども、基本的に訴えていることは同じようなところがあって、学区の見直しとか二中と海上中を活用してはどうかっていう意見が出てるっていうことが分かりました。

私も賛成だったんですけど、思ってることは皆さん出た意見と同じで、できることなら学区の見直しをして、干潟小と豊畑小の児童もこっちに入っていたら、バランスが整うのかなっていう意見も持ってたんですけども、先ほど干潟中の校長先生からも意見があったように、令和14年度には干潟中の人数が2桁になってしまうということがありまして、そうなってしまうと充実した教育活動がやりにくくなるというご意見もいただきましたので、干潟中学校としてはできるだけ早急に統合をして、干潟地区の子供たちに充実した教育活動ができるようにしてもらいたいなっていうのが一番の意見です。ただそれを急いでしまうと、先ほどからもたくさん出てますように生徒数のバランスが整わないとか、そういった問題も出てくるので、色々な方の意見を聞いて、よりよい方向にまとまっていけばいいのかなっていうのが私の意見です。

○委員　私も基本方針には賛成で、過疎地域の子供たちを守るっていうことでも必要かなとは思っています。さっきも出たかもしれないですけど、全国で成功してるモデルとかも資料をいただけたらなと。旭市に見合ったようなモデルケースがあればそれを参考にしてもいいのかなと思っていますので、新設して魅力ある学校を作っていただけたらいいかなと私は思っています。

○委員　私は地域検討会議では反対と意見を出しておりました。再編や新築には賛成なのですが、この5校ではやっぱり生徒数が少なく、他の統合校とのバランスが良くないので、学区の見直しをしたほうがいいのではないかと意見を出しておりました。

○委員 朝登下校の見守りをやってまして、毎月20日ちょっと私が街頭に立って交通安全とか旗をやってるんですけども、やっぱり干潟地域は過疎なんで、どうしても生徒数が少なくて、何人か通ったらもう終わりっていうような本当に寂しい状態になってます。生徒さんは人数が少ないなら少ないなりに明るく賑やかに元気なんですけど、部活動の問題であるとか、人数が少な過ぎるっていうのもやっぱり問題なので、統合は仕方ないかと思うんですけど。あと中学校が建物が古くて、建物の耐用年数っていうのが迫ってまして、ここ十何年かでもまた建て替えをしなきゃいけない時期ってことなんで、それも絡めてこういう案が出てるんだと思うんですけど。

私としてはやっぱり子供たちがのびのび楽しい生活をしていけるようにしてもらいたいのので、今まで干潟地域だけで話してましたけど、この新しい会議ということで、二中の方の意見とかも聞きながら上手くまとまっていけばいいかと思います。

○会長 私は基本方針については反対でありました。理由は旭市の財政についてちょっと心配だなと思うことがあって反対してました。だからスクールバスがいいかなと。しかしながら先ほどお話を聞いて、スクールバスも難しいところがあるのかなと、たまに生徒さんが置き忘れられるということもあるので、やはり一定数課題はあるのかなと思いました。

それとちょっと個人的な話になるんですけども、ちょっと恥ずかしいんですけどクレジットカードを使いすぎて、この間子供の塾代が引き落としにならなかったんですね。それが続いた時に、妻にあんたは子供の教育にかける金を惜しむのかみたいなことで怒られまして、それもちょっと考えたときに、財源がどうのって言った時と同じ考えなのかなと思って。やはりこの国の宝である子供のために1円でも多く住民税稼いでくるのは父親の役目かなと思った次第です。

なので、今回干潟の方と一緒に話をするようになって、距離感だったり、そういったところもお話聞けると思います。そして先ほどありましたが、いい学校とは、ですね、そういった難しいのかなっていうところも、自分の中でちょっとすぐには思い浮かばなかったんですけども、何て言うんですかね、この間住民説明会みたいなものに出て、原小学校っていうすごい生徒が多くてグラウンドにプレハブまで建って、道路の反対にグラウンドを急遽買ってるってことなんですけども、そういった窮屈な思いする学校もあるんだなと思う中で、逆にこっちは土地もあるので、新しく建てればいい学校が作れるのかなと思いました。

そして旭市は出生率の増加率が千葉県では一番っていうことをその場で聞くことができました。なので旭市にもまだ魅力があると思います。そしてこの場で話すことはないんですけど

ども、そういった人口を増加するところも考えていきつつ、通いたいなと思う学校を作ることでも大事かと思えます。境界ギリギリのところとか、そういったところはちょっと緩和措置があって、行きたい学校に通わせるっていうのは大事かなと思っております。

そうしましたら事務局から何かありますでしょうか。

○事務局 皆様ご意見ありがとうございました。いろいろご意見いただきましたので、次回の会議に向けて我々も資料を作っていくしたいと思います。

○会長 その他委員の皆様から何か質問はありますか。

○委員 この資料5の干潟中の生徒数が二桁になるとなかなか学校運営が厳しいというようにお話だったように記憶しておりますが、この表で見ますと大体2033年に77人っていう数字になってます。ちょっと実感湧かないんですけども相当厳しい時期になるのかなという解釈でよろしいですかね。

そういったことを念頭に事務局のほうにちょっとお願いしたいんですが、学校を実際に建てるとなった時に、まずは農地の転用の関係、それから用地の境界の関係、そして用地の取得、そこまでやって初めて建物の設計、そして開発の許可、そして建築というふうになっていく、大雑把に言うとそのぐらいになってくると思うんですけども、私の経験からすると、大体順調にいても2035年に建てば奇跡かなと思うぐらいなイメージなんです。もしこれ賛成してやったとしても、2035年に奇跡的にできるか、できないかだと思うんです。その中で干潟中はもう2033年で77人ということになってしまいますので、その辺の時間軸ですね。今この話をしても正確な資料は出せないのは分かっているんですが、現実的な時間軸も皆さんにお示ししてもらった中で、もしそういうことであれば、仮に賛成でやっていこうとなってもそういうことになってしまいますので、その辺もお示ししていただいた中で、ワンクッション入れる方法とかね、そういったのも考えながらやっていったらどうかなっていうところで、その辺の資料もお願いしたいなというふうに思っております。当初反対っていう話で始まったんですけど、一応これやる計画の話をしてるんで、本当にやれるのかどうかっていうところもちゃんと精査した上で賛成、反対の判断を皆さんにさせていただくのも大事かなと思えますので、よろしく願いいたします。

○会長 ほかに何かありますか。

○委員 学区の見直しを検討していただきたいっていうことで反対されてる方が多いのかなと思うので、参考までに今の北中学校に豊畑・干潟小学区の生徒さんが入ってきた場合の人数とかが分かれば参考になるのかなと思いました。

○委員 5つの学校の中に、向こう10年くらいの間に統合する学校っていうのがあるかと思っています。例えば中和、萬歳、古城の方達は数年の間に一つの学校になるっていう話も聞いてますし、共和と琴田もいずれ一緒になるっていう話、どうなるか分かんないですけど、そういう案があるという話を聞いています。この中央、干潟、豊畑、富浦、矢指に関しても、もし統合するとかっていう可能性が少しでもあるんだとしたら、豊畑と干潟をこっちにっていうお話も、例えば干潟と違うところがどっかくつついちゃうっていうのが今後関係してくるのだったら、それは人数バランスもまた変わってきちゃうっていうのもあると思うので、繰り返しになりますが、向こう10年の小学校の統合の可能性のある所っていうのを示していただきたいなと思います。

○会長 ちなみに今学校単位の話じゃないですか。例えば学校の中で地区単位で区切るとかってなっちゃったら生徒とかって嫌ですかね。共和小でも仲町と上町は干潟のほうに行くとか、下町は二中に行くとか。仮の話なんですけど、そういうところはあまり気にしないですかね。

○委員 地域検討会議の中でも小学校の学区をまず見直したほうがいいんじゃないかという意見もありました。

○会長 せっくなのでそういったところも柔軟に意見を聞いていければいいと思いますので、よろしくお願いします。

一応旭市の財源についてもデータのものをいただければと思います。農業とか畜産の財源とか、固定資産税とか、どういったデータなのかわかりませんが、将来的にどういうふうな収益が落ち込むのか上がるのか分からないんですけど、そういったところも参考に見ることができればなと思っております。

あとは現在の中学校と再編後の中学校の生徒数推計のデータがあるんですけども、これが小学校の学区ごとのデータとかももし細かく分かれば、ちょっとそこでまた見え方も違ってくるのかなと思うので、もしあればありがたいなと思います。

ほかに何か意見がある方はいらっしゃいますか。

(発言する人なし)

○会長 それでは本日本日予定されている議事は全て終了いたしました。議事進行のご協力ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。委員の皆様、議事の進行についてご協力ありがとうございました。

## 8 その他

○事務局　それでは最後に次第の8、その他ということで、事務局より事務連絡をさせていただきます。

○事務局　（事務連絡）

## 9 閉会

○事務局　長時間にわたり本日の会議ありがとうございました。

これにて第1回代表者会議を閉会にさせていただきたいと思えます。

【閉会：午後8時08分】